

インターネットの出入口となるルータを保護するために！！ ～ 家庭用ルータを保護するための2つの対策！～

ご家庭でルータを使用している方は、ルータを保護するためのセキュリティ設定等を行っていますか？

インターネットの出入口となるルータのセキュリティ等に不備があると、ルータを通るすべての端末からの通信が被害にあう可能性があります。

セキュリティ設定に不備のあるルータを使用するのは、家のドアを施錠せずに出かけるようなものです。無防備な状態でルータを使用していると、悪意のある第三者にルータへの侵入を許し、さまざまな悪さを働かれるおそれがあります。



【ルータを保護するための2つの対策！】

① ルータ管理画面の認証ID/パスワードを初期値から変更する。

ルータの認証ID/パスワードは、製造元や機種ごとに初期値が一律（例：IDがroot、パスワードが空欄など）で決められていることがあり、そのまま使っているとルータに侵入されるリスクを高めてしまいます。ルータの管理画面からID/パスワードを変更しましょう。その際には、**類推されにくいパスワードを設定することも重要**です。

② ファームウェアを更新する。

ファームウェアとは、ルータに組み込まれているソフトのことです。ソフトである以上脆弱性（弱点）が存在する場合があります。実際にルータの脆弱性を狙って侵入する攻撃も確認されています。**ルータの製造元が提供するファームウェアの更新プログラムを適用し、脆弱性を速やかに修正**しましょう。

ルータに脆弱性が存在する期間をできるだけ短くすることが重要です。

製造元や機種によって、ファームウェアの更新方法は異なります。取扱説明書や製造元のホームページで更新方法を確認してください。

ファームウェアの更新を自動で実行してくれる機種もあります。

ルータは、ホームネットワークの要です。万一、ルータのセキュリティを破られると、そこに接続するすべての機器に危険が及んでしまいます。ルータのセキュリティ設定を見直しましょう。

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課 小林

電話：0776-20-0296（直通）メール：s-kobayashi-7g@pref.fukui.lg.jp

「家庭の日」推進テーマ2月「わが家の歴史を語りあい、寒さに負けない体力をつくろう」

「青少年育成の日」推進テーマ2月「手をかけず、目をかけて自立を助けよう」